



2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年7月21日

上場会社名 株式会社マクアケ 上場取引所 東
 コード番号 4479 URL http://www.makuake.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 亮太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 田村 祐樹 TEL 03-6328-4038
 四半期報告書提出予定日 2020年7月22日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の業績 (2019年10月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	2,092	128.2	530	842.7	530	795.1	355	747.0
2019年9月期第3四半期	916	—	56	—	59	—	41	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	32.21	29.99
2019年9月期第3四半期	4.20	—

- (注) 1. 2019年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については、2018年9月期第3四半期は四半期財務諸表を作成していないため、記載しておりません。
2. 2020年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2019年12月11日に東京証券取引所マザーズに上場したため、新規上場日から当四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	5,408	2,619	48.3
2019年9月期	1,399	285	20.4

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 2,614百万円 2019年9月期 285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の業績予想 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,974	121.2	480	284.3	479	276.6	332	273.6	29.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期3Q	11,503,700株	2019年9月期	9,986,000株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	24株	2019年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期3Q	11,037,876株	2019年9月期3Q	9,986,000株

※ 四半期決算短信は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当社は、「生まれるべきものが生まれ、広がるべきものが広がり、残るべきものが残る世界の実現」というビジョンのもと、「世界をつなぎ、アタラシイを創る」をミッションに掲げ、世にない新しいものを提供するプロジェクト実行者(事業者)と新しいものや体験を作り手の思いや背景を知った上で応援の気持ちを込めて購入(=応援購入)するサポーター(消費者)をつなぐ、プラットフォーム「Makuake」を運営しております。

当第3四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果による緩やかな回復の継続が期待されておりましたが、米国の保護主義政策に端を発する貿易摩擦への懸念や中国経済の減速等の海外経済動向の不透明さが続く中、当第3四半期会計期間より新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行し、国内外の経済は極めて厳しい状況であります。一方、各国が感染拡大防止策を講じながら、社会経済活動レベルを段階的に引き上げており、景気の不況は下げ止まりつつあります。

当社の経営環境は新商品販売における1次流通市場及び自社EコマースのD2C市場、新サービスにおける予約販売Eコマース市場、クラウドファンディング市場等の複数の市場の影響を受けており、新商品・新サービスのマーケットデビューEコマース市場は高い成長ポテンシャルがあると考えております。

このような状況のもと、当第3四半期累計期間は全国の金融機関と連携し日本各地でブランド周知イベントを開催すると共に、メディア露出等を続けたことによってプロジェクト実行者(事業者)への認知が拡大し、量産前の新商品のマーケティング(新製品発売前の顧客ニーズ・評価等の調査、ブランディング等)やPRを目的にMakuakeを利用するプロジェクト実行者が増加、プロジェクト掲載開始数が増加いたしました。プロジェクトサポーター(ユーザー)においてはプロジェクト実行者によるWEB広告やメディア露出、SNSによる拡散等により毎日新しい、楽しいモノやサービスが生まれるプラットフォームとしての認識が広がりアクセスユニークユーザー数や会員数が増加いたしました。また、好みの商品ジャンルを登録するお気に入りタグ機能やメールマガジン、プロジェクト実行者の商品生産過程を報告する活動レポート等によりプロジェクトサポーターが繰り返しMakuakeを訪れ、応援購入する仕組みを確立しており、新規流入を増やしつつ、高いリピート率を維持しております。

新型コロナウイルス感染症により、外出規制が始まった当第3四半期会計期間においては、消費者のライフスタイルやワークスタイルが変化したことで、新たなニーズが生まれ、それにあつた新商品の掲載を希望する事業者(=プロジェクト実行者)が増加したことに加え、展示会、見本市又はオフライン店舗等で新商品をデビューさせることができない事業者(=プロジェクト実行者)がオンラインの新商品デビューの場であるMakuakeを利用する動きがより強まり、プロジェクト掲載開始数の増加がさらに加速いたしました。同時に、オフラインで楽しむ/見つける買い物ができなくなった消費者(=プロジェクトサポーター)がオンラインで趣味嗜好に合った応援購入という新たな消費スタイルを求め、Makuakeを利用することが増加し、アクセスユニークユーザー数がさらに拡大いたしました。

その結果、当第3四半期累計期間の応援購入総額は9,411,627千円、売上高は2,092,494千円(前年同四半期比128.2%増)、営業利益は530,697千円(同842.7%増)、経常利益は530,640千円(同795.1%増)、四半期純利益は355,525千円(同747.0%増)となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期は不透明なもの、新型コロナウイルス感染症によるプロジェクト実行者やプロジェクト支援者の実店舗からオンラインへの移行は両者において新たな体験となり、様々なメリットがあることから新型コロナウイルス感染症が収束した後も継続すると見込んでおります。

また、当社はクラウドファンディング事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は5,408,981千円となり、前事業年度末と比べ4,009,941千円の増加となりました。

流動資産は3,874,907千円増加し、4,953,653千円となりました。主たる要因は、現金及び預金が3,700,398千円増加したことによるものであります。

固定資産は121,286千円増加し、441,579千円となりました。主たる要因は、無形固定資産が109,907千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は2,789,136千円となり、前事業年度末に比べ1,675,367千円の増加となりました。

流動負債は1,665,088千円増加し、2,763,599千円となりました。主たる要因は、預り金が1,328,100千円増加したことによるものであります。

固定負債は10,278千円増加し、25,536千円となりました。これは、勤続インセンティブ引当金が10,278千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は2,619,844千円となり、前事業年度末に比べ2,334,574千円の増加となりました。これは、新規株式上場に伴う公募及び第三者割当増資を実施したこと等により資本金及び資本剰余金がそれぞれ986,960千円、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が355,525千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の業績予想につきましては、2019年12月11日の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」において公表しました予想から変更しております。詳細につきましては、2020年7月21日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	879,340	4,579,738
売掛金	194,694	372,179
その他	8,280	8,731
貸倒引当金	△3,569	△6,996
流動資産合計	1,078,746	4,953,653
固定資産		
有形固定資産	50,310	46,947
無形固定資産	200,608	310,515
投資その他の資産		
その他	76,910	91,653
貸倒引当金	△7,537	△7,537
投資その他の資産合計	69,373	84,116
固定資産合計	320,292	441,579
繰延資産	—	13,748
資産合計	1,399,039	5,408,981
負債の部		
流動負債		
短期借入金	50,000	—
1年内返済予定の長期借入金	27,500	—
未払法人税等	31,524	175,811
預り金	800,817	2,128,917
その他	188,669	458,870
流動負債合計	1,098,511	2,763,599
固定負債		
勤続インセンティブ引当金	15,257	25,536
固定負債合計	15,257	25,536
負債合計	1,113,769	2,789,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	132,995	1,119,955
資本剰余金	132,995	1,119,955
利益剰余金	19,279	374,805
自己株式	—	△115
株主資本合計	285,270	2,614,600
新株予約権	—	5,244
純資産合計	285,270	2,619,844
負債純資産合計	1,399,039	5,408,981

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	916,773	2,092,494
売上原価	171,134	373,111
売上総利益	745,638	1,719,383
販売費及び一般管理費	689,341	1,188,685
営業利益	56,296	530,697
営業外収益		
講演料等収入	2,921	2,950
その他	333	211
営業外収益合計	3,254	3,161
営業外費用		
支払利息	271	111
株式交付費償却	—	3,107
営業外費用合計	271	3,218
経常利益	59,280	530,640
税引前四半期純利益	59,280	530,640
法人税、住民税及び事業税	13,846	181,546
法人税等調整額	3,457	△6,431
法人税等合計	17,303	175,114
四半期純利益	41,976	355,525

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年12月11日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場にあたり、2019年12月10日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式の発行980,000株により、資本金が698,740千円、資本剰余金が698,740千円増加しております。また、2020年1月14日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連した第三者割当増資による新株式の発行381,700株により、資本金が272,152千円、資本剰余金が272,152千円増加しております。

また、新株予約権の権利行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ16,068千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において資本金1,119,955千円、資本剰余金1,119,955千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、クラウドファンディング事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。